

令和3年度 いじめ防止アドバイザー派遣に係る詳細報告

1 アドバイザーの氏名・経歴等について

○加藤 誠昭 氏

- ・加藤氏は教員OBであり、これまで国府中学校、松倉中学校の校長を歴任し、平成28年度末に定年により退職。
- ・学校現場のみならず、県教育委員会や高山市教育委員会（課長を務める）など教育行政の現場の経験もある。県教育委員会勤務時には、当時、瑞浪市で起きたいじめによる自殺事案にも関わった経験がある。現在は、県のいじめ・不登校未然防止アドバイザーも務めている。

2 今年度のいじめ防止アドバイザーによる学校への支援等の具体について

○定期の学校訪問による授業参観および管理職を中心とした面談

- ・5月～7月にかけて前期の訪問、9月～12月にかけて後期の訪問として市内の全小・中学校31校に訪問を実施した。1月～3月にかけては3回目の訪問を実施予定である。
- ・訪問では、これまでに認知したいじめの対応やその後の様子について職員より報告を受けた後、実際の児童生徒の様子を参観し、学級や学校全体の雰囲気や被害児童生徒や気になる児童・生徒（ハイパーQ Uの結果で要支援群に所属している児童生徒等）の様子を中心に参観し、見届けを実施した。
- ・管理職やいじめ対応の中心となる生徒指導主事等と「いじめの未然防止に向けた魅力ある学校づくり」という視点で学校経営について相談・助言を行った。
- ・清見小・中学校では、いじめ問題に関わる児童生徒の具体的な取組（人権タウンミーティング）を参観し、取組について助言を行った。

○臨時の学校訪問による該当校への指導・助言

- ・学校からの報告の中でいじめの重大事態まではいたらないが、心配な事案に関わり、該当校へ臨時の学校訪問を行い、管理職と事案の経過や対応について確認し、助言を行った。

※7月に丹生川中に臨時訪問（6月末報告のいじめ事案の報告を受けて）

※11月に2回丹生川小に臨時訪問（ある学級が落ち着かず、学校側もその対応に苦慮しているとの市教委への報告・相談を受けて）

○職員に対する研修等

- ・三枝小学校長より職員研修の依頼があり、6月は「差別や偏見と向き合う児童の育成」、10月は「後期の‘学級の軸となる活動’で児童につけたい力」と題し、講師として研修を実施した。
- ・9月に開催の「高山市小中学校いじめ問題対策協議会」では、市内全31小・中学校の生徒指導主事を対象に「いじめの未然防止に向けた生徒指導主事の役割」と題し、講師として研修を実施した。
- ・2ヶ月に1回開会の校長研修会や教頭研修会のグループ別研修において、「いじめ問題グループ」に参加し、同じグループの校長や教頭にいじめの対応や未然防止に向けた学校経営等について指導・助言を実施した。

※校長研…4月、6月、8月、10月 教頭研…8月、10月、11月、12月